

街並み散策ぶらり i n 神奈川

旧東海道 藤沢宿



旧東海道 藤沢宿

現在の遊行寺坂を下り、現在の藤沢橋を右へ曲がった辺り一帯が藤沢宿であったそうです。
本陣1、旅籠49軒で、江ノ島道や鎌倉道へ行く旅人の宿としても賑わっていたとのこと。

1



影取の由来となった大蛇を退治した鉄砲の名人が住みつけたことから鉄砲宿の名がついたとされる場所で説明の碑がある。

2



旧東海道の松並木跡の碑があります。安藤広重の描いた場所がここであるかは分かりませんが、1960年頃からの松喰虫の猛威により、大半が枯れてしまったそうです。



3



江戸幕府が設けた一里塚跡です。現在は何も残っておりませんが当時の旅程の目印として盛土をした丘の上に榎があったそうです。

4



全国各地にある諏訪神社 農耕の神、蚕業の神として祭られています。

5



遊行寺(時宗総本山 清浄光寺) 上杉、足利両軍の人馬供養の供養塔があります。両軍の死者を一箇所に吊われた場所としては最古のもの。

6



現在の遊行寺橋。安藤広重が描いた「藤澤宿」はこの付近から遊行寺方面をみて描いたとされています。

7



街道沿いに1軒だけ趣きのある建物がありました。「紙」と看板にありましたが、商店なのか住宅なのかは分かりませんでした。

8



旧東海道を意識しているのか派出所もこの様なデザインになっています。

9



派出所の路地を奥へ進むと「源義経首洗井戸」があります。腰越の浜に捨てられた義経の首が潮に乗り境川のぼって漂着したものを里人がすくい洗い清めた井戸とされています。

10



白旗神社、古くは寒川神社と呼ばれていたらしい。ここにも義経の言い伝えがあり腰越で弁慶の首と同時に首実検が行われたあと、この場所に首が飛んできたとのこと。

11



現在の小田急線 藤沢本町駅付近の橋です。この辺りが藤沢宿の終わりであったとされ、これより平塚宿へ向けて旅の始まりです。